

温泉成分等揭示表

施設名 **ぎょうざの満洲 東明館**

浴室名 **武尊の湯**(女湯内風呂) **赤城の湯**(男湯内風呂)
尾瀬の湯(女湯露天風呂) **吹割の湯**(男湯露天風呂)

利用温泉

源泉名：3号泉（老神温泉）

温泉の泉質：単純硫黄温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）

●温泉 1kg 中の成分

泉温（源泉） 5 5.6℃		pH 値 8.4			
蒸発残留物 0.5 7 g/kg		成分総計 0.5 6 g/kg			
陽イオン	ミリグラム	陰イオン	ミリグラム	遊離成分	ミリグラム
ナトリウムイオン (Na ⁺)	1 4 3	フッ化物イオン (F ⁻)	8.3	非解離成分	
カリウムイオン (K ⁺)	4.1 0	塩化物イオン (Cl ⁻)	1 2 7	メタけい酸 (H ₂ SiO ₃)	6 5.0
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.2 2	硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	1 5 6	メタほう酸 (HBO ₂)	6.4
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	2 3.8	炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	1 3.4	非解離成分計	7 1.4
鉄 (II)イオン (Fe ²⁺)	0.3 9	炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	3.7	溶存ガス成分	
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.0 8	硫化水素イオン (HS ⁻)	5.7	遊離二酸化炭素 (CO ₂)	0.0
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	<0.0 5			遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.3
陽イオン計	172	陰イオン計	314	溶存ガス成分計	0.3
その他の微量成分	総ヒ素:0.014mg/kg 鉛イオン:検出せず 銅イオン:検出せず 総水銀:検出せず				

分析年月日 平成24年11月22日 登録分析機関 (社)群馬県薬剤師会 群馬薬第2号

温泉利用状況

加水の状況	加水してません。
加温の状況	加温していません。
循環・ろ過状況	循環ろ過装置は使用していません。
入浴材の有無	入浴剤は入れていません。
消毒処理の状況	消毒剤は使用していません。

入浴を控えた方がよい疾患及び症状

- この温泉固有の禁忌症
皮膚・粘膜の過敏な人、特に光線過敏症の人
- 温泉の一般的禁忌症
急性疾患（特に熱のある場合）、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中（とくに初期と末期）

入浴をすると良い疾患及び症状

- この温泉固有の適応症
慢性皮膚病、慢性婦人病、きりきず、糖尿病
- 温泉の一般的適応症
神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進

温泉利用方法及び注意事項

○一般的な入浴の場合、次のことに十分注意してください。

- 熱い湯に急に入ったり、長湯をするとめまいなどを起こすことがあります。始めは3～10分位とし、慣れるにしたがって延長してください。
- 浴槽には静かに入り、浴後は湯冷めに注意し、しばらく安静にしてください。運動浴は、全く別の専用施設で行います。
- 浴後、身体についた成分は洗い流さないでください。ただし、かぶれ症の方や湯ただれを起こしやすい人は、逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取ってください。（強塩泉及び酸性泉の場合）
- 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
高血圧症、心臓病、高度の動脈硬化症
- 飲酒後の入浴は特に注意し、空腹・満腹時の入浴は控えてください。
- 入浴前後には水分の摂取を心掛けてください。高齢者の方は特に注意が必要です。
- 酸性泉の場合は入浴中タオルなどでこすると皮膚を痛めることがありますので注意してください。

○温泉療養の場合、次のことに十分注意してください。

- 1日当りの入浴回数は、始めて数日間は1回程度とし、その後2～3回まで増やしてください。
- 数日後、湯あたり(湯さわ)が現れた場合は、入浴を中止したり回数を減らし、回復をまってください。
- なお、温泉療養に際しては、温泉についての専門的な知識を有する医師(温泉療法医等)の指導を受けてください。